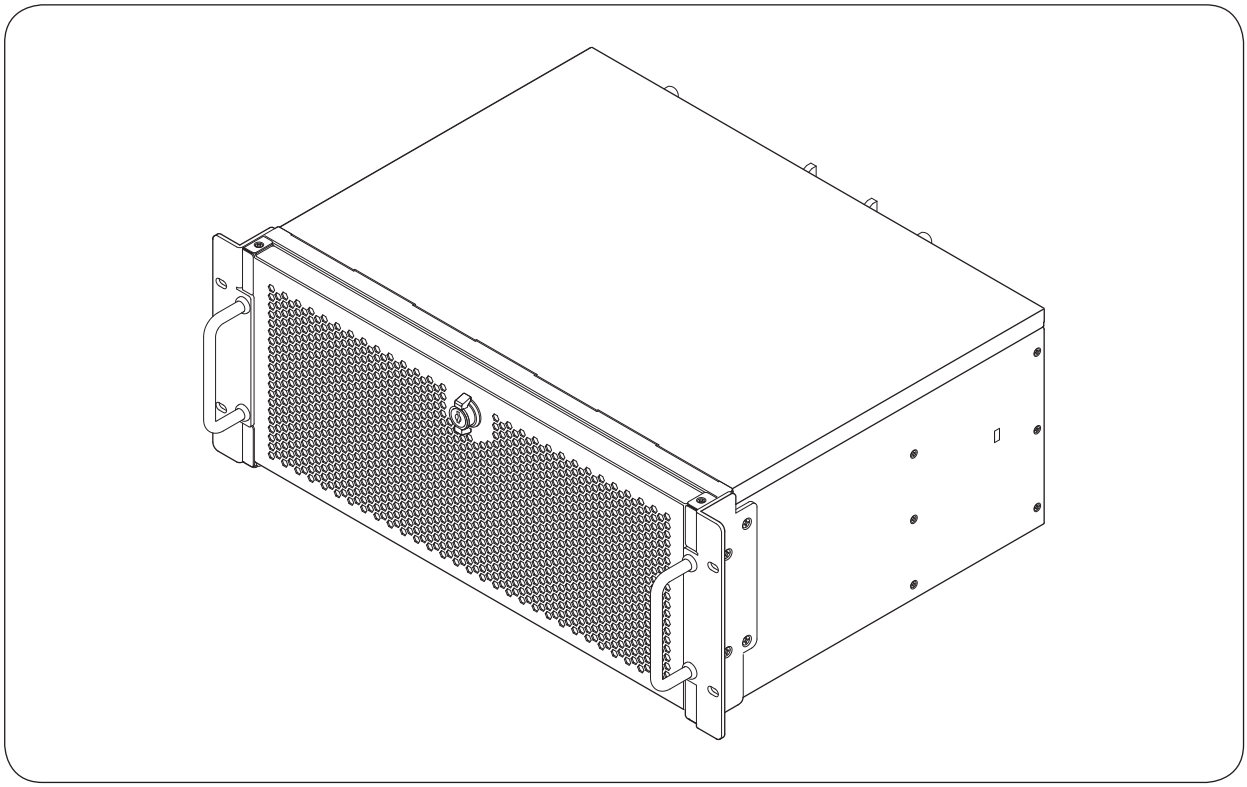
TOA

取扱説明書 設置編

TRIFORA

ネットワークレコーダー　N-R500R



このたびは、TOA ネットワークレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書 設置編をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます

目　次

安全上のご注意 4

使用上のご注意 7

はじめに 9
- 内容物をお確かめください 9
- 取扱説明書の構成 9
- ダウンロードサイトのご案内 9
- HDD ユニット（別売品）について 9

概　要 10

特　長 10

各部の名称とはたらき 12
- 前　面 12
- 後　面 14

準備するもの 15
- マウスについて 15
- リムーバブルメディアについて 15
- ソフトウェアキーボードについて 16

設置のしかた 17
- ラックに取り付ける 17
- 電源プラグの抜け防止 19
- HDD ユニットの取り付けかた 19
- HDD ユニットを交換する 21

接続のしかた 23
- システム例 23
- 接続できる機器と拡張機能について 24
- 無停電電源装置（UPS）の接続 26
- 電源異常復旧後の動作 27

運用までに行う設定の流れ 28
- 基本の設定 28
- 詳細設定 29

起動と終了 30
- 本機の起動 30
- 本機の終了 33

かんたん設定について 34

マスタービューアーについて 35

マスタービューアーでできること 35
初期ユーザー 35
ログイン／ログアウト 35
マスタービューアー画面 37

故障かな？と思ったら（設置編） 38

アフターサービスについて 39

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号		
					
分解禁止	禁　止	接触禁止	強　制	電源プラグを抜け	アース線を接続せよ

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。


禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。


禁　止

LAN 端子に過電圧を加えない

LAN 端子に過電圧が加わるおそれがあるネットワーク機器を接続しないでください。
感電、火災の原因になります。


禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。


禁　止

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。
守らないと、火災・けがの原因となります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- 本機に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。


強　制

電源のアースを接続する

アース線を接続しないと、漏電のとき、感電の原因となります。


アース線を接続せよ

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)



電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。



禁　止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。
感電の原因となります。



接触禁止

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜け

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

通風口をふさがない
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。


禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない
湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。


禁　止

使用するとき

定期的に内部の掃除をする
内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。


強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする
電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。


強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意
お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。


電源プラグを抜け

フロントカバーは緩やかに開閉する
身体に当たるなどして、けがの原因になることがあります。


強　制

使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用部品です。本機以外の機器には使用しないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離してから行ってください。
- 本機は必ず指定の無停電電源装置(UPS)に接続してください。UPS を使用せずに突然電源が切断された場合、内部のデータが破損することがあります。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは必ずシャットダウン操作をしてください。
- 本機の移動は電源を切ったあと、30 秒以上経過してから行ってください。
- 移動および設置をするときは HDD ユニットを取り外した状態で行ってください。故障の原因になります。
- 温度および湿度が機器仕様の条件を満たす場所で使用してください。
- 寒いところから暖かいところへの移動やエアコンの吹き出し口付近の設置などは、結露が発生しやすいので避けてください。結露が発生したときは十分に乾くまで電源を入れないでください。また、寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ場合は、半日程放置してから使用してください。
- 温度が低い設置環境で本機を起動したときは、ハードディスクの動作が安定するまでまれに録画や録音が途切れたり、カメラの接続、録画台数が不安定になったりすることがあります。
- 通風口およびフィルターにほこりがたまる場合がありますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、定期的に通風口およびフィルターを掃除してください。掃除は年 1 回程度実施することをお勧めします。
- 本機を掃除するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。またひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン、シンナー、アルコール類、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や故障の原因になります。
- 強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないでください。映像が乱れたり、故障の原因となることがあります。
- 本機は商工業地域でのみ使用できる機器です。
  一般家庭で使用した場合、ラジオやテレビジョン受信機などに受信障害を与えるおそれがあります。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。
  本機は精密機器です。落としたりして強い衝撃を与えると、故障の原因になります。
  輸送するときは、付属のカートンに梱包し、本機に衝撃を与えないように注意してください。
- 本機を振動のあるところで使用しないでください。
  本機は精密機器です。振動のある場所で使用すると、故障の原因になります。
- ハードディスクについて
  - 万が一、ハードディスクが故障した場合、記録したデータの復旧はできません。
  - 大切な記録の場合は、リムーバブルメディアに保存してください。
  - 著作権を有する映像や録画(録音)物などから記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- 消耗品について
  次の部品は消耗品です。寿命時間を目安にして交換してください。ただし、この時間はあくまでも目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。
  - 冷却用ファン　：約 3 年(使用環境温度 25℃)
  - ハードディスク　：約 3 年(使用環境温度 25℃)
- 本機はネットワーク上でパケットロスなどの障害が発生した場合に、録画が途切れることがあります。
- 本機は安定した動作を継続するために必要と判断した場合、自動的に再起動することがあります。
- 本機はカメラで監視している画像を録画、再生する目的で作られており、本機のアラーム機能が、犯罪などを防止することを保証するものではありません。
- 本機のソフトウェアは最新のバージョンをご使用ください。
- 機器は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)へ容易に手が届くようにしてください。
- 本機にさわる場合は、必ず静電気を放電してから触れてください。帯電した状態でさわると機器の誤動作や故障の原因になります。
- 本機は電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続できません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

● 個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

● 機器を譲渡・廃棄される場合

本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。
廃棄、譲渡、修理などで本機または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

● ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
  不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機への不正アクセスを防ぐために、機器の ID、およびパスワードは、初期設定から変更して運用してください。
  設定方法等、詳細については別冊の取扱説明書 操作・設定編を参照してください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

● 無停電電源装置（UPS）に関するご注意

本機と組み合わせ可能な無停電電源装置(UPS)電源は、オムロン株式会社製「BY75SW」、「BY50FW」、「BW40T」、または「BW100T」です。本機と無停電電源装置(UPS)を USB 通信ケーブルで接続していただくことで、停電時に安全に電源を停止することが可能です。

ご注意

本機には、オムロン株式会社製ソフトウェア「Simple Shutdown Software」をプリインストールし出荷しております。「Simple Shutdown Software」の著作権はオムロン株式会社に帰属しております。
本機と「Simple Shutdown Software」を組み合わせて使用することにより発生する責務は TOA 株式会社が有しております。

はじめに

■ 内容物をお確かめください

本機には次のものが同梱されていますので、確認してください。

CD（取扱説明書 操作・設定編(PDF)） 1
電源コード(2 m) 1
ガイドレール 2
ガイドレール取付ねじ 4
ガイドレール取付座金 4
ラック取付ねじ 4
ラック取付座金 4
フロントカバー用鍵 2

■ 取扱説明書の構成

本機の取扱説明書は、3 種類に分かれています。目的に応じて必要な説明書をお読みください。

取扱説明書 設置編(本書) ：本機の設置方法および他機器との接続方法を説明しています。
取扱説明書 操作・設定編 ：本機の操作のしかたと設定方法を説明しています。付属の CD に収録されています。
クイックマニュアル ：ライブ・再生など、本機の基本的な機能を説明しています。

■ ダウンロードサイトのご案内

本機の仕様およびソフトウェアについては、TOA 商品データダウンロードサイト(https://www.toa-products.com/download/) を参照してください。
タブレット端末やスマートフォンなどでブラウザーを起動して URL を入力するか、右の QR コードを読み取って、表示された画面で品番を入力し、検索してください。

■ HDD ユニット（別売品）について

本機を使用するには、別売の HDD ユニットが必要です。
以下のいずれかと組み合わせて使用してください。

品　番	品　名	総容量	実効容量	RAID level
N-HU-16S	HDD ユニット 16 TB セット	16 TB(2 TB × 8)	12 TB	RAID6
N-HU-32S	HDD ユニット 32 TB セット	32 TB(4 TB × 8)	24 TB	RAID6
N-HU-64S	HDD ユニット 64 TB セット	64 TB(8 TB × 8)	48 TB	RAID6

※ HDD ユニットが最大 2 台故障しても運用を継続できます。故障時は速やかに HDD ユニットを交換してください。(☞ P. 21「HDD ユニットを交換する」)
3 台以上故障した場合は、録画の停止および記録済みデータの復旧はできません。販売店へお問い合わせください。

概　要

ネットワークカメラの画像と音声を記録するネットワークレコーダーです。接続できるカメラ台数は 64 台で、別売のライセンスカメラ接続数拡張 32 台 N-SL5CH32 を追加することで最大 128 台まで拡張できます。
PC を使わなくてもフル HD 画像を最大 30 fps で録画、ライブ監視、再生、マップ表示できます。
HDD 8 台で RAID6 を構成します。なお、本機には HDD は搭載していないため、別売の HDD ユニットが必要です。また、機器の電源が入った状態で HDD の交換が可能なホットスワップに対応しています。EIA 規格に適合するラックに取り付けることができます(4 サイズ)。
ONVIF Profile S の ONVIF Client 機能を搭載しており、ONVIF Profile S に対応したカメラを接続することができます。*

* 同一セグメント内カメラの自動検出、ライブ表示、録画、再生、カメラ制御(パン／チルト／ズーム／プリセット移動)、イベント受信に対応しています。すべてのカメラでの動作を保証するものではありません。

特　長

● HDD 冗長化

RAID6 システムを搭載しているため、ハードディスク(HDD)が最大 2 台故障した場合でも運用を継続できます。電源を入れて稼働している状態で、運用を止めずに HDD の交換が可能です。

● 高解像度、高フレームレートライブ映像

フル HD (1920 × 1080)、30 fps のライブ映像を表示できます。
画像圧縮方式は H.265、H.264、MPEG-4 に対応しています。

● 多画面でライブ映像を表示

ライブ映像は、最大 64 分割の多画面で表示できます。

● デュアルモニターに対応したライブ表示

2 台のモニターを接続することで、それぞれのモニターに独立したライブ映像を表示できます。

● デュアルモニターに対応したマップ機能

外部で作成したマップ画像にカメラアイコンを配置し、選択したカメラのライブ映像を表示することができます。
2 台のモニターを接続することで、サブモニターにマップを常に表示させておくことができます(マップモニター機能)。

● 高解像度、高フレームレート録画

フル HD (1920 × 1080)、30 fps の映像を録画できます。
画像圧縮方式は H.265、H.264、JPEG に対応しています。

● 録画データのイベント検索

過去にイベントが発生した時刻を検索でき、その時刻から再生できます。

● 録画映像の取り出し

録画映像をリムーバブルメディアへ保存し、専用プレイヤーを使用して PC で再生することができます。

● カメラとの音声送受信

カメラからの音声を再生したり、レコーダーからカメラへ音声を送信することができます。
また、カメラから受信した音声を録音することもできます。(カメラが音声に対応している必要があります。)

● TOA 製ネットワークコンビネーションカメラの簡易操作

TOA 製ネットワークコンビネーションカメラの簡易操作ができます。

● セキュリティ機能

ユーザーのログイン／ログアウトの機能があります。ユーザーごとに操作権限を設定できます。
また、マスタービューアー画面をロックして操作できないようにする機能もあります。

● 調時機能

NTP サーバーを利用して時刻を自動的に調整することができます。

● PC レス

本機だけで録画、ライブ監視、再生が行え、PC を使用せずにシステムを組むことができます。

● メール送信機能

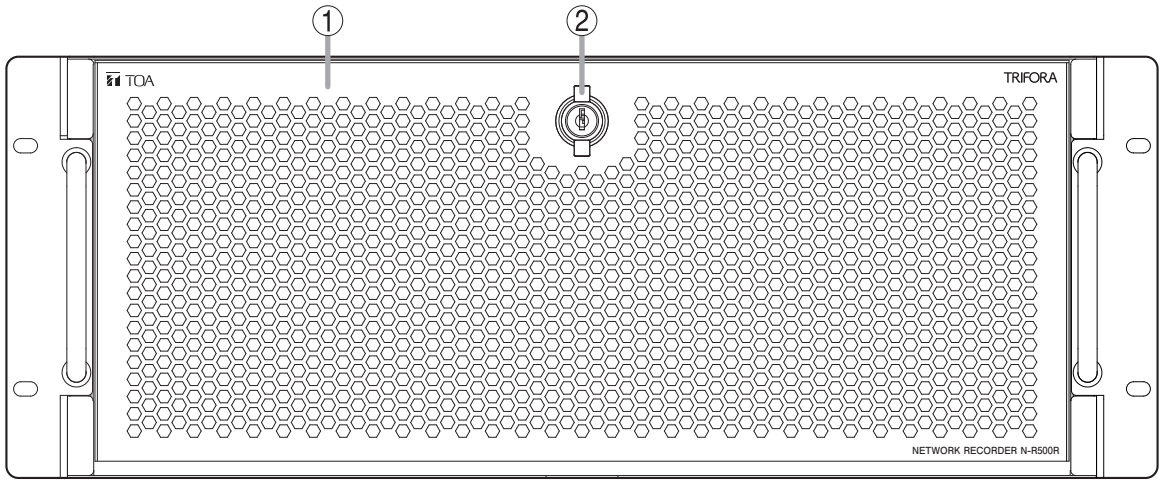
イベントが発生したときや機器異常が発生したときに、あらかじめ設定したメールアドレスにメールを送信することができます。

● 無停電電源装置（UPS）との連動

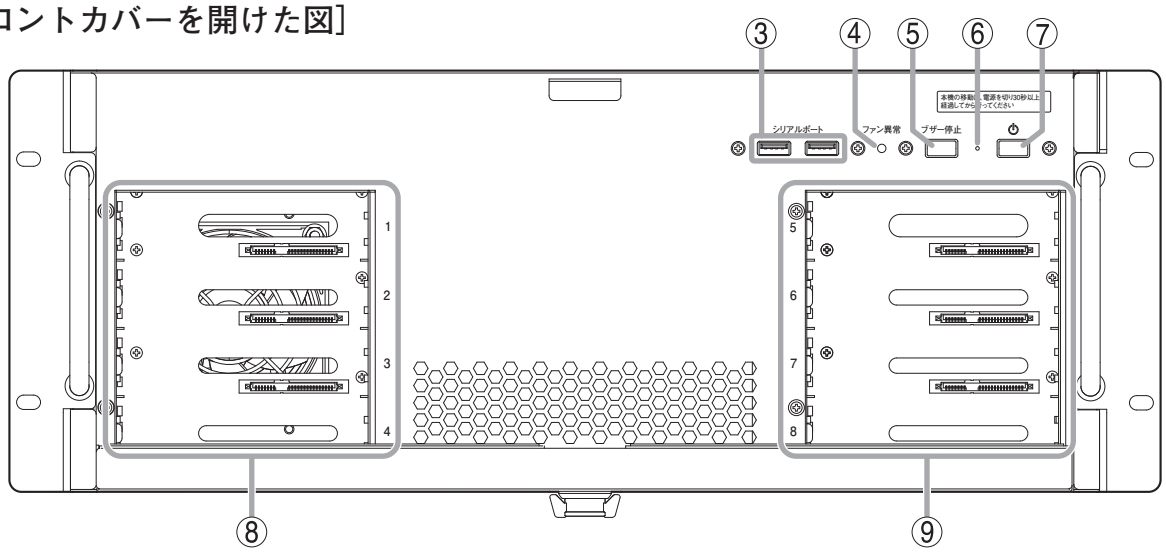
UPS と組み合わせることで、突然の電源遮断による本機のシステム損傷を防止できます。

各部の名称とはたらき

■ 前　面



［フロントカバーを開けた図］



1. フロントカバー

2. ノブ
フロントカバー用鍵（付属品）で施錠することができます。

3. シリアルポート（USB2.0）
USB 接続のマウスやキーボードを接続して本機の操作を行います。また、リムーバブルメディアに録画映像を保存するときに接続します。
（☞ P. 15「準備するもの」）

4. ファン異常 LED
本機内部のファン 1 または本機後面のファン 2 に異常が発生したときに点灯します。

5. ブザー停止キー
ブザー（ピーという連続音）を停止します。
ブザーを停止するためには、マスタービューアー画面でログインしてから操作を行ってください。

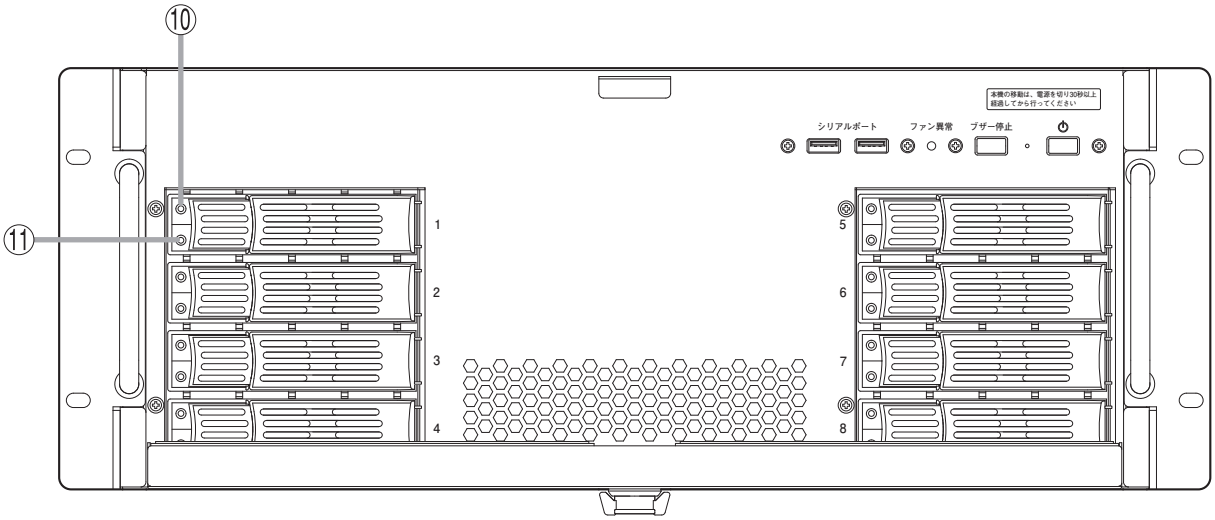
6. 強制終了キー
メンテナンス用です。

7. 電源キー（電源 LED）
スタンバイ状態から電源を ON にします。
電源が ON のときに緑色に点灯します。
（☞ P. 32「電源キーから起動する（スタンバイ状態から起動する）」）

8. ディスクスロット（HDD 1 ～ HDD 4）
HDD ユニット（別売品）を取り付けます。

9. ディスクスロット（HDD 5 ～ HDD 8）
HDD ユニット（別売品）を取り付けます。

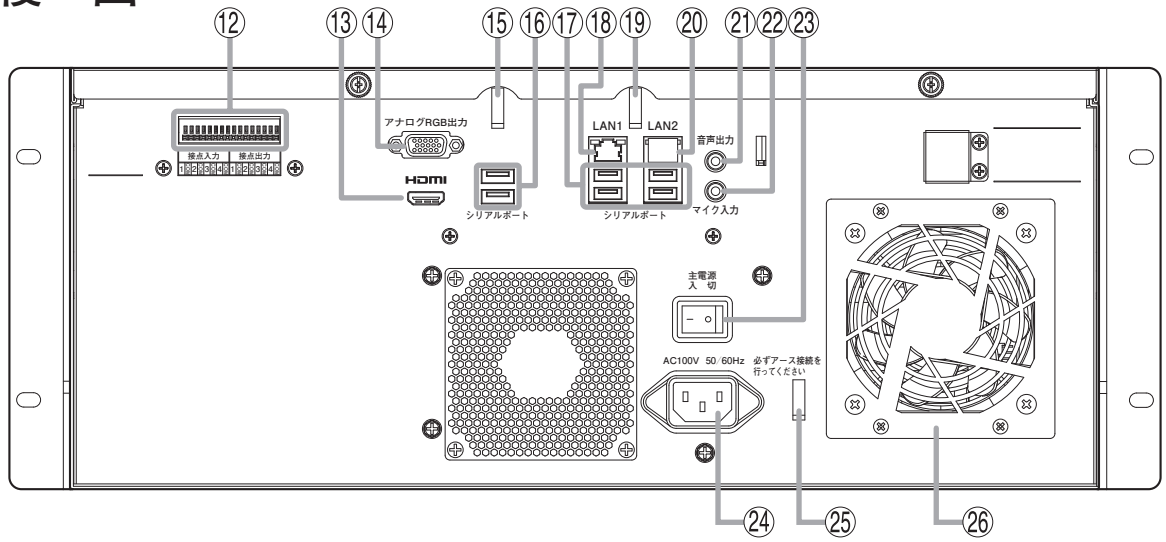
［フロントカバーを開けた図（HDD ユニット搭載時）］



10. HDD パワー LED
HDD ユニットに電源が供給されている場合に点灯します。

11. HDD ステータス LED
HDD ユニットの状態によって点灯／点滅する色が変わります。
緑（点灯）：正常
赤（点灯）：異常または RAID 未構築
橙（点滅）：リビルド中

■後　面



12. 接点入出力端子

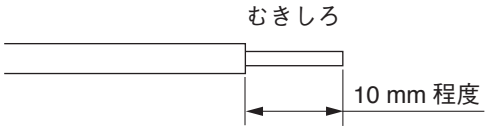
外部機器から接点入力するときは、接点入力端子の接点入力 1 ～ 4 端子と接地端子に接続してください。外部機器へ接点出力するときは、接点出力端子の接点出力 1 ～ 4 端子と接地端子に接続してください。

接点入力端子	
端子番号	名　称
1	接点入力 1
COM	接　地
2	接点入力 2
COM	接　地
3	接点入力 3
COM	接　地
4	接点入力 4
COM	接　地

接点出力端子	
端子番号	名　称
1	接点出力 1
COM	接　地
2	接点出力 2
COM	接　地
3	接点出力 3
COM	接　地
4	接点出力 4
COM	接　地

適応線材

単線　：ø 0.32 mm ～ ø 0.65 mm(AWG28 ～ AWG22)
より線：0.08 mm^2 ～ 0.32 mm^2(AWG28 ～ AWG22)
ケーブルの被覆は 10 mm 程度はがしてください。



ご注意

より線を使用するときは、むきしろ部分に半田めっきをしないでください。

13. HDMI 出力端子

モニターの HDMI 入力端子に接続します。
出力解像度：1280 × 1024 以上、
1920 × 1080 以下

14. アナログ RGB 出力端子

モニターのアナログ RGB 端子に接続します。
出力解像度：1280 × 1024 以上、
1920 × 1080 以下

15. コードクランプ 1

USB 通信ケーブルおよび HDMI ケーブルが抜けるのを防止します。（☞ P. 26「ネットワークレコーダーと UPS を接続する」）

16. シリアルポート（USB2.0）

USB 接続のマウスやキーボード、リムーバブルメディア、UPS と連動するための通信ケーブルを接続します。（☞ P. 15「準備するもの」、P. 26「無停電電源装置（UPS）の接続」）

17. シリアルポート（USB3.0）

USB 接続のマウスやキーボード、リムーバブルメディア、UPS と連動するための通信ケーブルを接続します。（☞ P. 15「準備するもの」、P. 26「無停電電源装置（UPS）の接続」）

18. LAN1 端子

100BASE-TX/1000BASE-T に対応しています。
通常は 1000BASE-T で使用してください。

19. コードクランプ 2

USB 通信ケーブルが抜けるのを防止します。
（☞ P. 26「ネットワークレコーダーと UPS を接続する」）

20. LAN2 端子

使用しません（拡張用）。

21. 音声出力端子（φ 3.5 ミニジャック）

ネットワーク経由で受信した音声を出力する端子です。

22. マイク入力端子（φ 3.5 ミニジャック）

マイクを接続して音声を入力する端子です。

23. 主電源スイッチ

24. AC インレット

25. コードクランプ 3

電源コード（付属品）が抜けるのを防止します。
（☞ P. 19「電源プラグの抜け防止」）

26. ファン 2

ご注意

コネクターやケーブルは無理に押し込まないでください。押し込むことができないときは、力を入れずにコネクターの向きやピンなどを確認してください。無理に押し込むと端子を破損することがあります。

準備するもの

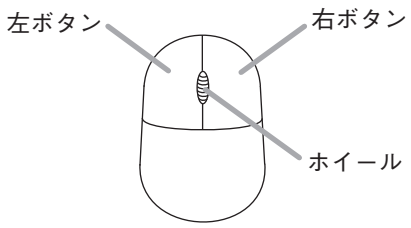
本機を使用する際には、マウス、リムーバブルメディアが必要です。
機器の操作はすべてマウスで行えます。
以下の仕様のものを準備してください。

■ マウスについて

接続コネクターが USB タイプのものを使用します。

● マウスの操作

USB 接続のマウスをシリアルポートに接続すると本機の操作ができます。
文字の入力方法は、P. 16「ソフトウェアキーボードについて」を参照してください。



操作の呼び名	操作の説明
クリック	左ボタンを 1 回押すことです。
ダブルクリック	左ボタンを素早く 2 回押すことです。
右クリック	右ボタンを 1 回押すことです。
ドラッグ	左ボタンを押しながらマウスを移動することです。
ドロップ	ドラッグの状態から左ボタンを離すことです。
(マウスポインター)	マウス入力の現在地を示します。
マウスオーバー	マウスポインターを画像やアイコン上に重ねることです。

■ リムーバブルメディアについて

FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリー、USB 外付ハードディスクを使用します。

ご注意

- リムーバブルメディアを接続したときに再起動を促すメッセージ画面が表示された場合は、再起動を行わないでください。
- USB 外付ハードディスクは、本機から USB 給電を行わないでください。

■ ソフトウェアキーボードについて

ソフトウェアキーボードを使用してマウスで文字を入力することができます。
日本語(ひらがな／カタカナ／漢字)、英数字を入力できます。

● ソフトウェアキーボードの操作

各画面の  をクリックすると、ソフトウェアキーボードが最前面に表示されます。

- Shift キーをクリックすると、大文字／小文字が切り換わります。
- A/あ (入力モード切換)キーで日本語／英語の入力表示が切り換わります。
  日本語の場合は、空白 / 変換 キーで空白の入力と、ひらがな／カタカナ／漢字の変換ができます。
  英語の場合は、space キーで空白を入力できます。

ご注意

ログイン画面、終了画面のユーザー名は、大文字入力しても小文字に変換されます。

[小文字入力]



[大文字入力]



メ　モ

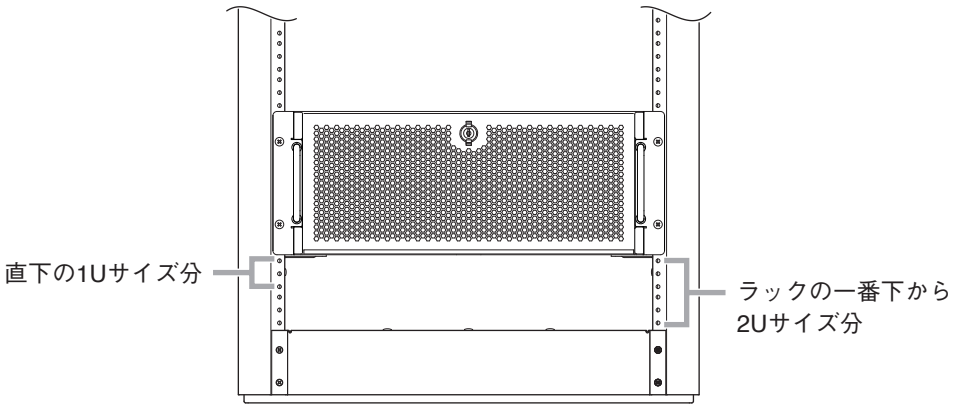
市販のキーボードを使用する場合は、以下の仕様のものを準備してください。

・接続コネクターが USB タイプ
・日本語対応

設置のしかた

本機はラックマウント専用です。
EIA 規格に準拠したラックに取り付けることができます。

付属のガイドレールを使用すると、設置時に本機を取り付けやすくしたり、メンテナンス時にラック前面から本機を容易に引き出すことができます。
ガイドレールを使用する場合、ラックの一番下から 2U サイズ分は本機を取り付けることができません。また、本機直下の 1U サイズ分にはガイドレールと干渉しない機器しか取り付けることができません。（通気パネルは取り付けることができます。）

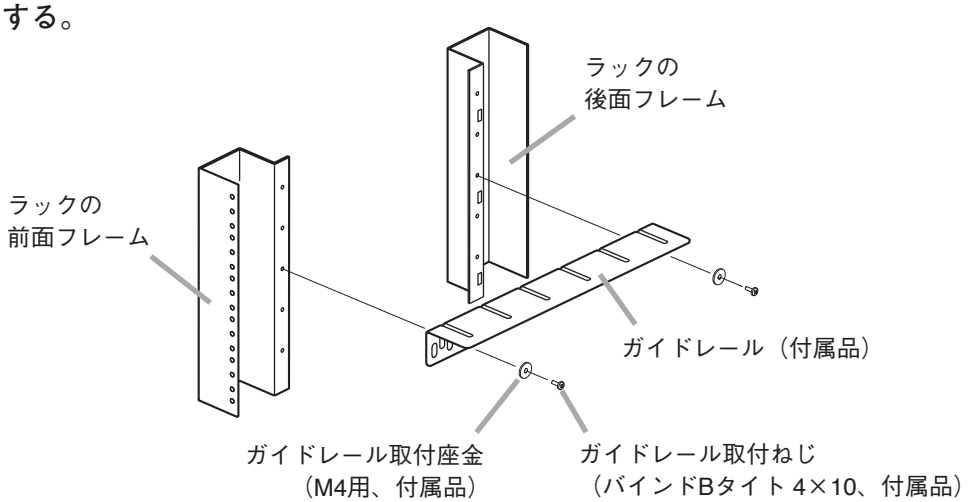


■ ラックに取り付ける

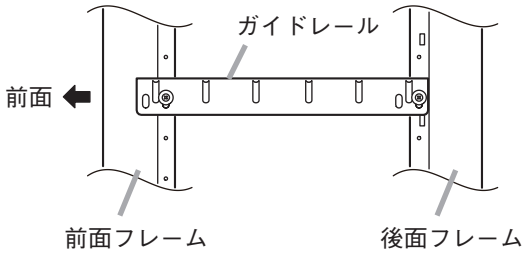
ご注意
HDD ユニットを取り外した状態で行ってください。落下した場合、故障の原因となります。

※ 図は、キャビネットラック CR-273/CR-413 の左側面で説明しています。右側面も同様に取り付けてください。

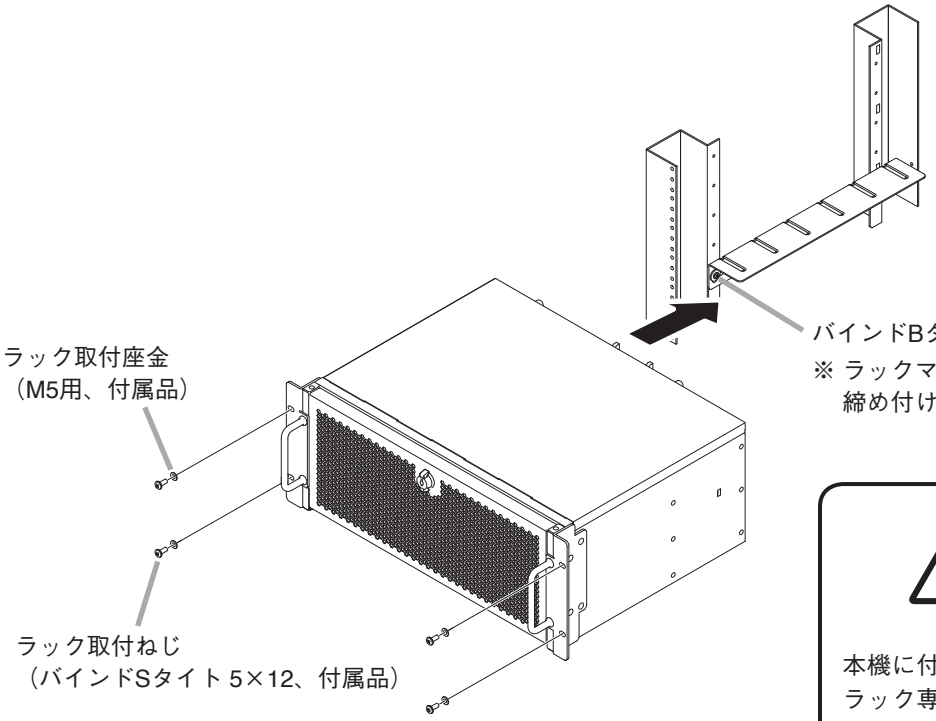
1 **ガイドレールをガイドレール取付ねじ（付属品）とガイドレール取付座金（付属品）でラックのフレームに仮止めする。**



ご注意
ガイドレールは使用するねじ穴の位置に注意し、取り付けたときにラックの前面寄りになるようにしてください。



2 仮止めしたガイドレールの上に本機を乗せ、本機をラック取付ねじ（付属品）とラック取付座金（付属品）でラックに固定する。



⚠ 警告

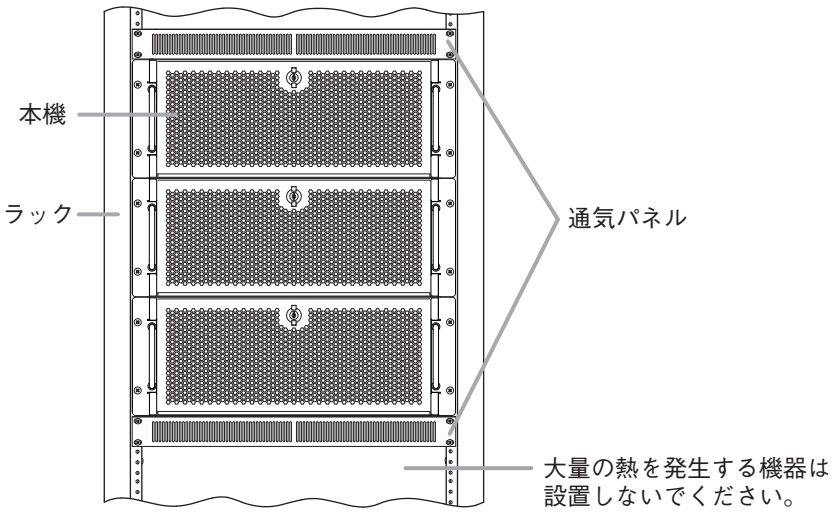
本機に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。ほかのラックには使用しないでください。

3 仮止めしたガイドレールを本機に合わせて固定する。

本機との隙間がないように固定してください。

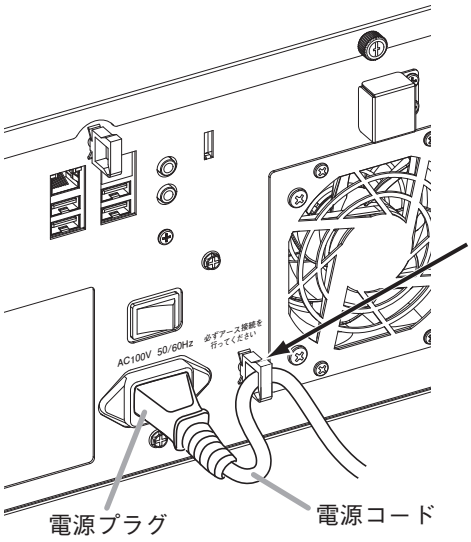
ご注意

- 付属のガイドレールは YA-706 同等品です。また、キャビネットラック CR-273、CR-413、CR-413-6 専用品です。
- USB キーボードや USB マウスを前面から操作できるよう、ラック内に棚を設置することをお勧めします。また、USB 通信ケーブルを機器裏面のシリアルポートに容易に接続できるよう、配線長やラック内の配線スペースを十分に確保してください。
- 本機に搭載された冷却用ファンやハードディスクは、風切り音やモーター音などの動作音が発生します。動作音が気にならないような場所に設置してください。
- 通風口をふさがないようにしてください。
- 本機の下に大量の熱を発生する機器（パワーアンプ）は設置しないでください。
- 本機を 3 台以上ラックマウントする場合は、3 台ごとに通気パネルを上下に入れてください。
- 本機は必ず無停電電源装置（UPS）に接続し使用してください。



■ 電源プラグの抜け防止

AC インレットから電源プラグが抜けるのを防止します。
図のように電源コード(付属品)を固定します。



コードクランプのロックを外し、電源コードを通す。

※ 電源プラグからコードクランプまでの長さを最短にしてください。

■ HDD ユニットの取り付けかた

本機は、HDD ユニット(別売品)をフロントカバー内のディスクスロットに取り付けて使用します。

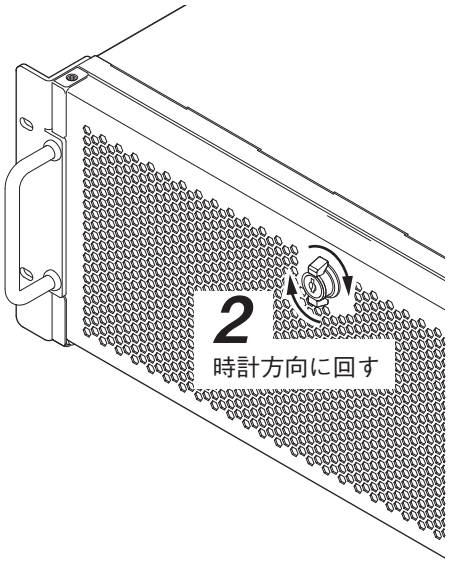
ご注意

- HDD ユニットを取り付ける際は、本機をラックに設置した状態で行ってください。HDD ユニットを取り付けたままで本機の設置や輸送を行うと、衝撃や落下により故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃してから作業を行ってください。
- HDD ユニットは精密機器です。ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないように取り扱ってください。振動や衝撃は故障の原因となります。

1 **施錠している場合は、鍵穴にフロントカバー用鍵（付属品）を挿入し、反時計方向に回して鍵を開ける。**

※ 工場出荷時は施錠されていません。

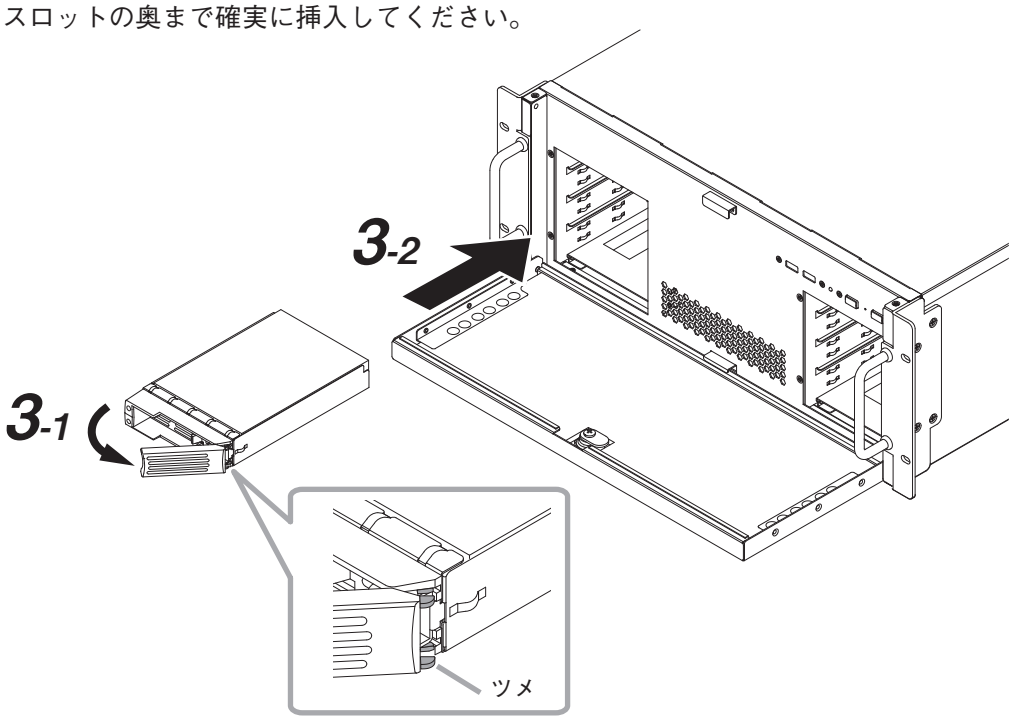
2 **ノブを時計方向に回し、フロントカバーを開く。**



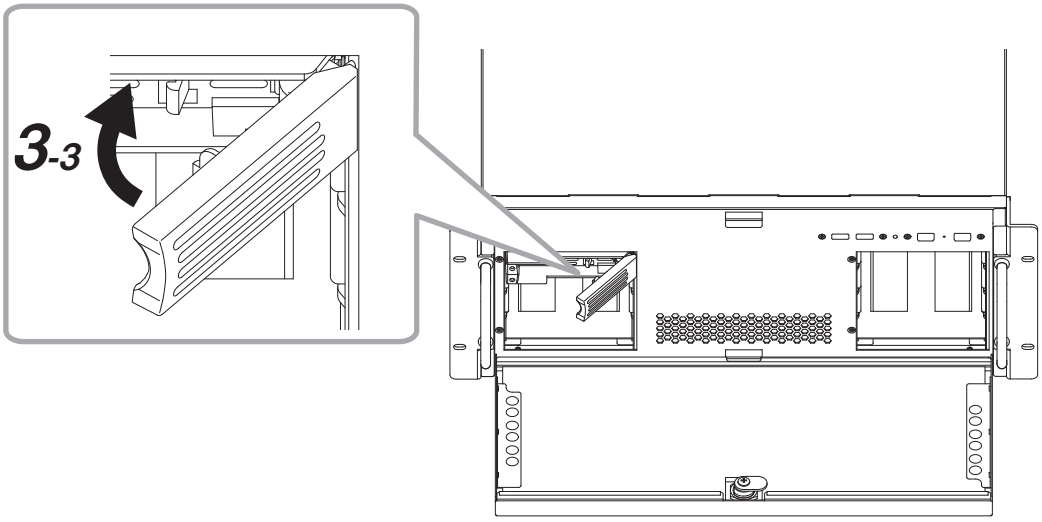
3 HDD ユニットをディスクスロットに挿入する。

3-1 HDD ユニットのレバーを開く。

3-2 図の向きのとおり、HDD ユニットをディスクスロットに挿入する。
ディスクスロットの奥まで確実に挿入してください。



3-3 レバーを閉じる。
「カチッ」と音がし、HDD ユニットが固定されます。



4 すべての HDD ユニットを取り付けたあと、「HDD 管理」で RAID の構築を行う。
RAID の構築のしかたについては、別冊の取扱説明書 操作・設定編をご覧ください。

ご注意

- HDD ユニットは 8 台すべて取り付けてください。8 台接続されていない場合、RAID の構築を行うことはできません。
- HDD ユニットは、すべて同じ記憶容量のものを取り付けてください。異なる記憶容量のものを取り付けた場合、RAID の構築を行うことはできません。

■ HDD ユニットを交換する

HDD ユニットは運用を継続したまま、2 台まで同時に交換することができます。

ご注意

- HDD ユニットを交換する際は、本機をラックに設置した状態で行って下さい。HDD ユニットを取り付けたままで本機の設置や輸送を行うと、衝撃や落下により故障の原因となります。
- 静電気による破損を防ぐため、金属物に触れるなどして、人体や衣服に帯電した静電気を逃してから作業を行ってください。
- HDD ユニットは精密機器です。ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないように取り扱ってください。振動や衝撃は故障の原因となります。

HDD ユニットの状態は HDD ステータス LED で確認できます。

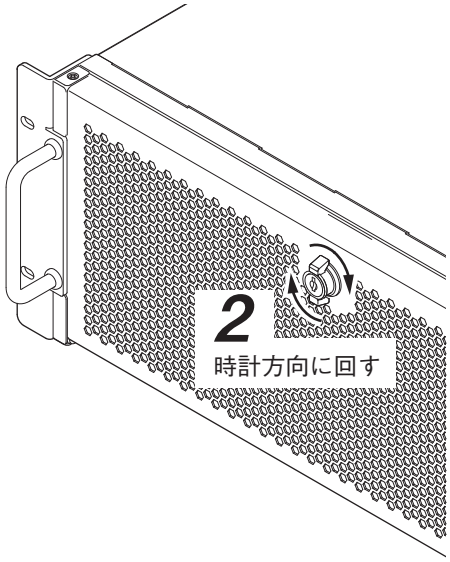
HDD ステータス LED の色	状態
緑(点灯)	正常です。
赤(点灯)	異常または RAID 未構築です。
橙(点滅)	リビルド(再構築)中です。

ご注意

- 正常な HDD ユニットは取り外さないでください。取り外してしまった場合は再び接続し、リビルドを完了させてください。
- 3 台以上の HDD ユニットが異常、リビルド中、または未接続のいずれかの状態になった場合は本手順では交換できません。販売店にご相談ください。

1 **施錠している場合は、鍵穴にフロントカバー用鍵（付属品）を挿入し、反時計方向に回して鍵を開ける。**

2 **ノブを時計方向に回し、フロントカバーを開く。**



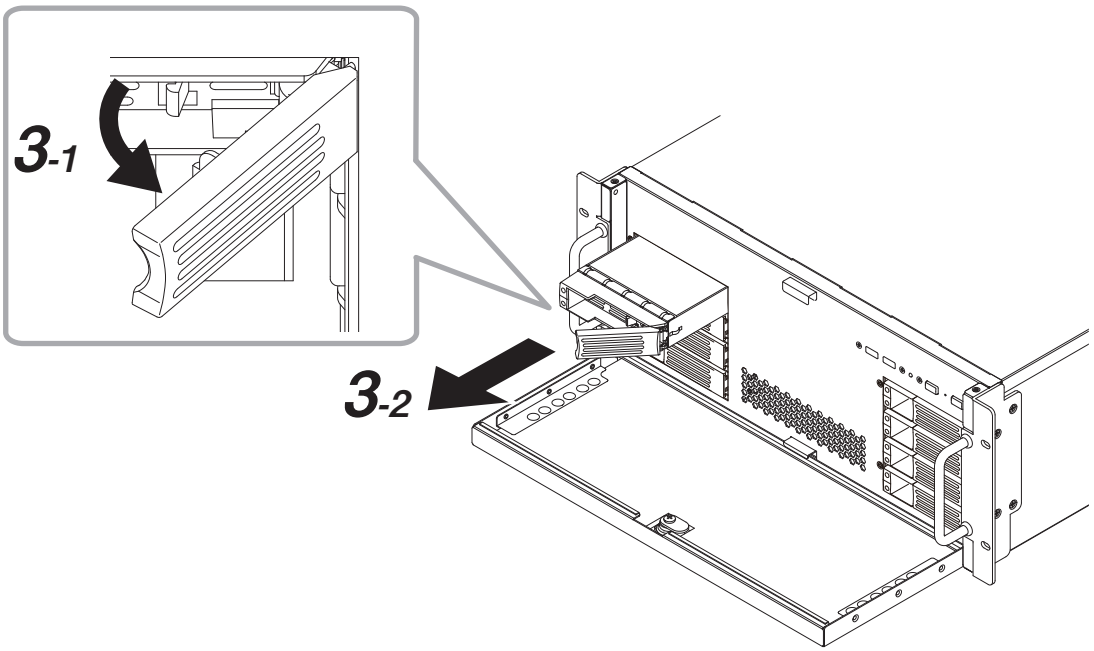
3 HDD ユニットを取り外す。

3-1 HDD ユニットのレバーを開く。

3-2 レバーを持ち、HDD ユニットを取り外す。

ご注意

ハードディスクに衝撃を与えないよう静かに引き抜いてください。



4 交換用の HDD ユニットをディスクスロットに挿入する。

取り付け方法については、P. 20 手順 3 を参照してください。

HDD ユニットを交換すると自動でリビルドが開始されます。
リビルドが開始されると、HDD ユニットの HDD ステータス LED が橙色に点滅します。

ご注意

- HDD ユニット交換後、リビルドが開始されるまで最大で約 1 分かかかる場合があります。
- リビルド中に機器を停止する場合は、必ずシャットダウン操作を行ってください。動作中に主電源を切るとシステムが損傷する可能性があります。

リビルド完了時間の目安

HDD ユニットの容量	時間
8 TB	約 60 時間
4 TB	約 30 時間
2 TB	約 15 時間

※ あくまでも目安であり時間を保証するものではありません。

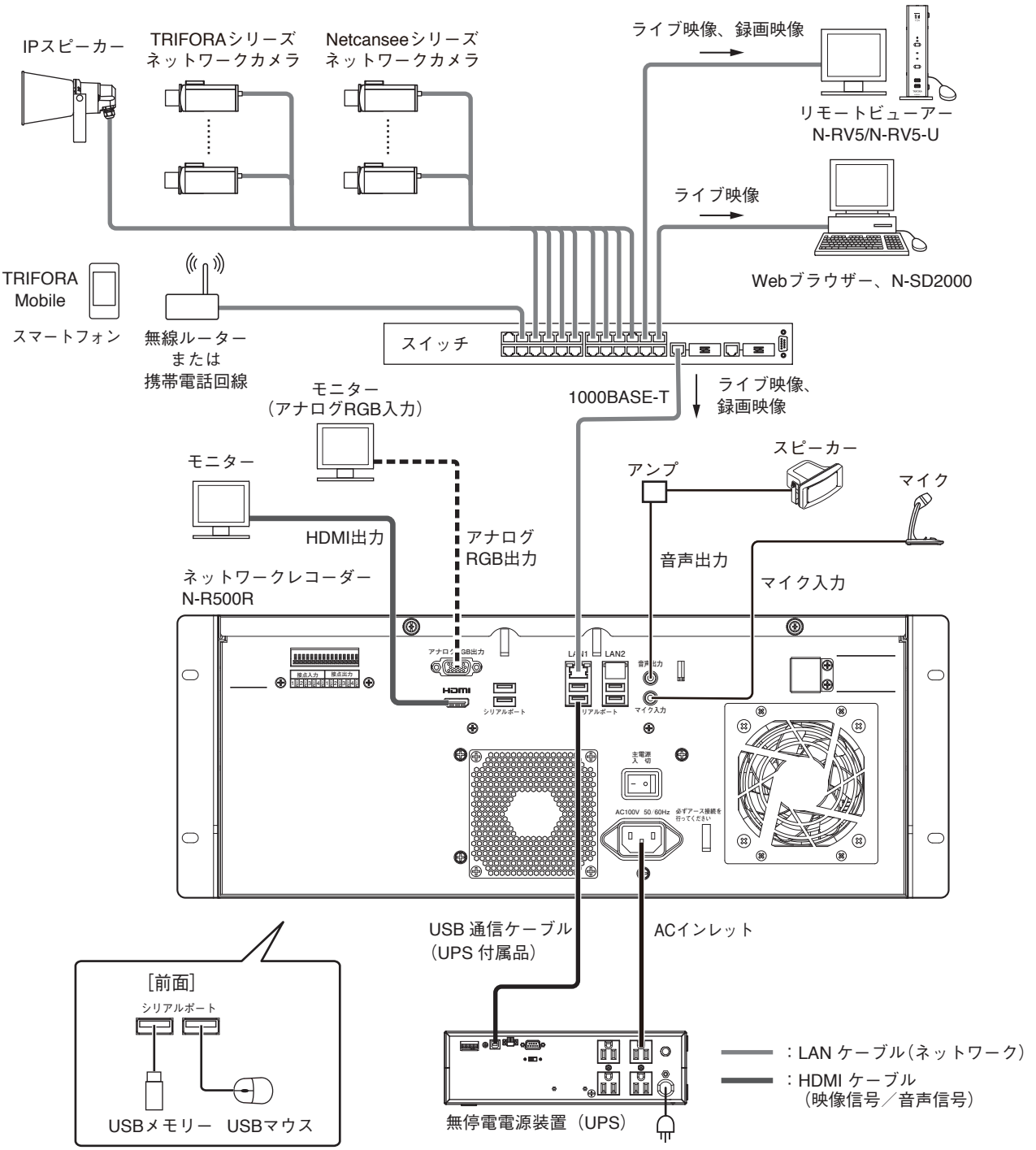
5 リビルドが完了したことを確認する。

リビルドが完了すると、HDD ユニットの HDD ステータス LED が緑色に点灯します。

接続のしかた

■ システム例

N-R500R とネットワークカメラ(TRIFORA シリーズ、Netcansee シリーズ)、リモートビューアー N-RV5/N-RV5-U、PC (Web ブラウザー、N-SD2000)を使用したシステムは以下のようになります。



ご注意

- 本機は必ず無停電電源装置(UPS)に接続してください。
- LAN ケーブルは、カテゴリー 5e 規格以上のストレートケーブルを使用してください。
- 本機とスイッチの間は 1000BASE-T で接続してください。
- スイッチに接続するときや、スイッチから取り外すときは、本機が起動していない状態で行ってください。
- システム内にネットワークソフトウェアデコーダー (N-SD2000)を接続して使用する場合は、本機の仕様の制約から、N-SD2000 のユーザーログインレベルを必ず「ユーザー 3」にしてください。また、N-SD2000 の接続時パラメーター設定の画像サイズを「D1」に設定してください。設定せずに使用すると、本機が正しく動作しないことがあります。

N-SD2000 の「ユーザー 3」の設定では、以下の操作ができます。
・4 分割画面ライブ表示
・4 分割画面ライブのフルスクリーン表示
各種設定操作はできません。

- 本機で運用開始後、PC の Web ブラウザーや N-SD2000 を使用してカメラの設定を行わないでください。
- 既存のシステムに組み込まれている Netcansee シリーズのカメラと本機を接続する場合は、カメラを初期化してから接続してください。カメラの初期化については、カメラの設定説明書をご覧ください。
- モニターの接続や取り外しは、本機が起動していない状態で行ってください。起動中に接続や取り外しを行うと、本機が正しく動作しないことがあります。
- アナログ RGB モニターと接続する際に使用するケーブルは、15 ピンがすべて揃っているものを使用してください。

■ 接続できる機器と拡張機能について

本機と接続できる機器は以下のとおりです。

● ネットワークカメラ

機 種	取扱説明書での表記	画像圧縮方式
N-C5 シリーズ	TRIFORA（N-C5）シリーズ *1、*2	H.265、H.264
N-C3 シリーズ	TRIFORA（N-C3）シリーズ *1	H.264
Netcansee シリーズ *3	Netcansee シリーズ	MPEG-4/JPEG
ONVIF（Profile S）対応カメラ *4	ONVIF 対応カメラ	H.264、JPEG

*1 N-C5 シリーズ、N-C3 シリーズの両方に該当する場合は、「TRIFORA シリーズ」と記載しています。

*2 TRIFORA（N-C5）シリーズにはビデオエンコーダーを含みます。ただし、ビデオエンコーダーは以下の機能が非対応です。
・ポイントビュー　・ズームビュー

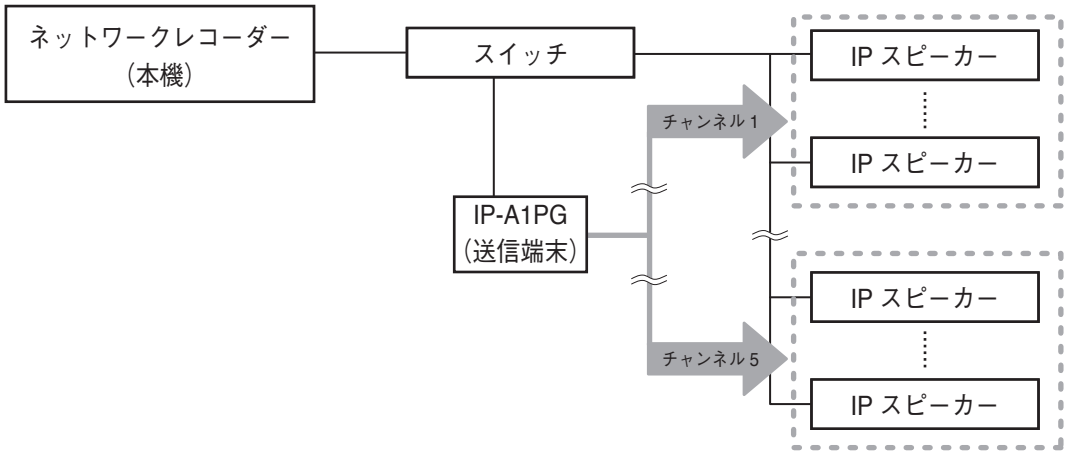
*3 本機では以下の機能が非対応です。
・ライブ音声受信／送信　・録画音声受信（録音）　・ポイントビュー
・ズームビュー　・マウスのホイール操作によるズームアップ／ズームアウト
・MP4 形式でのエクスポート

*4 本機では同一セグメント内カメラの自動検出、ライブ表示、録画、再生、カメラ制御（パン／チルト／ズーム／プリセット移動）、イベント受信に対応しています。ただし、すべてのカメラでの動作を保証するものではありません。また、以下の機能が非対応です。
・ライブ音声受信／送信　・録画音声受信（録音）　・ポイントビュー　・ズームビュー
・フォーカス制御　・オートフォーカス制御　・オートパン　・ツアー
・プリセット登録　・接点入出力表示　・接点出力制御

● 拡張機器

機 種	取扱説明書での表記
IP-A1 シリーズ	IP スピーカー

IP-A1PG（送信端末）を経由すると、複数の IP スピーカーへグループ放送ができます。
放送するグループを IP-A1PG のチャンネル 1 ～ 5 から選択できます。本機のマップ上でチャンネルを選択して放送します。



ご注意

- ライブ画面ではグループ放送はできません。（パターン設定はチャンネル登録不可）
- 放送形態によって IP-A1PG が対応するチャンネルが異なります。
  ・本機から音声送信　　：VMS 放送コンバート設定のオーディオチャンネル 1 ～ 5
  ・IP-A1PG の内蔵音源を放送 ：マルチキャスト送信チャンネル 1 ～ 5

  詳しくは TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/download/）で品番（IP-A1PG）を検索し、送信端末設定説明書をご覧ください。

● ビューアー

機 種	取扱説明書での表記	画像圧縮方式
N-RV5	N-RV5	H.265、H.264、MPEG-4/JPEG
N-RV5-U	N-RV5-U	H.265、H.264、MPEG-4/JPEG

ご注意

N-RV3、N-RV4-U は接続できません。

● スマートフォン

以下のアプリケーションがインストールされたスマートフォンで、カメラの映像を見たり、レコーダーを操作したりすることができます。

対応スマートフォンアプリケーション	画像圧縮方式
TRIFORA Mobile	H.265、H.264

スマートフォンアプリケーション「TRIFORA Mobile」は App Store または Google Play ストアから入手できます。詳しくは、「スマートフォンアプリケーション取扱説明書」をご覧ください。

● カメラの拡張機能

拡張機能が有効化されたカメラを接続することで、以下のイベント機能の使用やグラフの表示が行えます。機能の詳細は各説明書をご覧ください。

イベントの種類	品名（機能名）	品番	説明書
メーター	ライセンス アナログ計器センシング	N-SL5AM	取扱説明書
白杖認識	ライセンス 白杖認識	N-SL5WD	取扱説明書
通過人数カウント	通過人数カウント	―	通過人数カウント機能説明書
滞在人数カウント	滞在人数カウント	―	滞在人数カウント機能説明書

■ 無停電電源装置（UPS）の接続

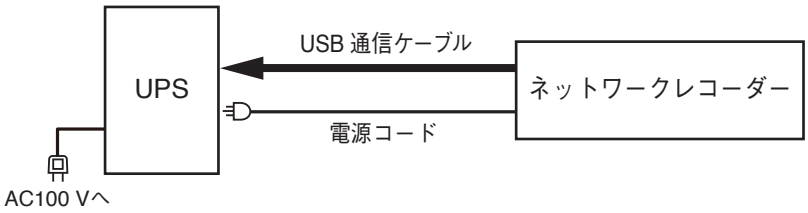
本機の運用には UPS を使用してください。UPS とは、電源異常（停電）が発生し、本機への入力電源が切断された場合でも、本機が安全に停止するまでの一定時間、UPS のバッテリーから本機へ電力を供給し続ける電源装置です。UPS を使用することで、突然の電源切断によるシステム損傷を防ぐことができます。

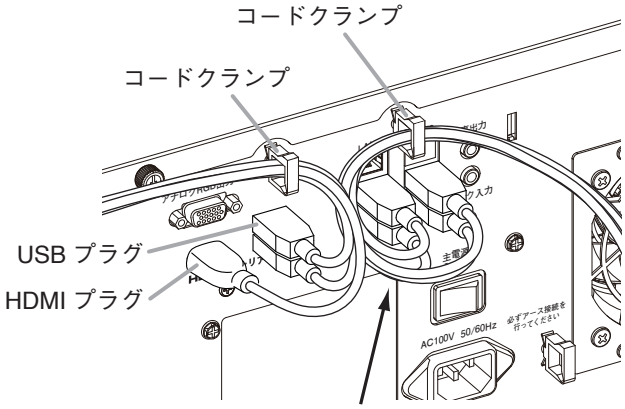
使用できる UPS

UPS はオムロン株式会社製の「BY75SW」、「BY50FW」、「BW40T」、または「BW100T」を使用してください。

● ネットワークレコーダーと UPS を接続する

本機の電源プラグ（3P）を UPS の電源出力コンセントにつなぎ、UPS 付属の USB 通信ケーブルで本機と UPS を接続します。詳しくは、UPS の取扱説明書をご覧ください。





コードクランプのロックを外し、USB 通信ケーブルを通す。

※ USBプラグからコードクランプまでの長さを最短にしてください。

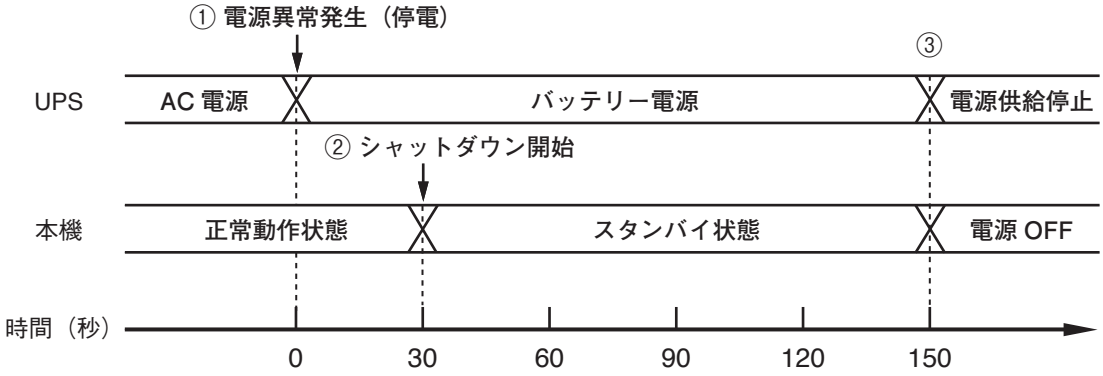
ご注意

- USB 通信ケーブルは、レコーダー後面のシリアルポートに接続し、必ずコードクランプに通して、本機と UPS に確実に接続されている（押し込まれている）ことを確認してください。接続が不完全な場合、電源異常（停電）が発生しても本機を安全に停止させることができません。
- UPS は後面のシリアルポートに接続してください。前面のシリアルポートに接続した場合、正常に通信できない場合があります。

● 電源異常発生時の動作

UPS の AC 電源（AC100 V）に電源異常（停電）が発生したとき（下図 ①）、電源異常（停電）から電源異常待機時間*（下図では 30 秒）が経過したあと、本機はシャットダウンを開始し、スタンバイ状態になります（下図 ②）。シャットダウン開始から 120 秒経過後、UPS が電源供給を停止することにより、本機はスタンバイ状態から電源 OFF となります（下図 ③）。

* 電源異常待機時間はメンテナンス設定で変更することができます。（☞ 取扱説明書 操作・設定編「UPS 接続時の動作設定を行う」）



［電源異常待機時間を 30 秒に設定した場合］

ご注意

- 電源異常待機時間内に復電した場合は、本機はシャットダウンを開始しません。
- スタンバイ状態（シャットダウン開始から 120 秒間）では本機を起動させないでください。故障の原因となります。

■ 電源異常復旧後の動作

復電して UPS からの電源供給が再開されると、システムが自動的に起動します。

メ　モ

スタンバイ状態中（シャットダウン開始から 120 秒間）に復電した場合は、本機はスタンバイ状態を維持したあと、自動的に起動します。

ご注意

システムが自動的に起動を開始するまで 1 分程度かかることがあります。

● モニター表示

システム起動後、自動ログイン機能が設定されていると、マスタービューアーにログインして、ライブ画面が表示されます。

ご注意

自動ログイン機能が設定されていない場合、マスタービューアーのログイン画面が表示されます。手動でログインしてください。

● 録　画

録画スケジュール設定がされている場合、システム起動後ログイン状態に関係なく録画を再開します。

運用までに行う設定の流れ

本機を運用するまでに行う設定の流れは、以下のとおりです。
設定方法については、別冊の取扱説明書 操作・設定編をご覧ください。

■ 基本の設定

1 **機器を接続する** （☞ P. 23「接続のしかた」）

2 **本機を起動する** （☞ P. 30「本機の起動」）

自動でかんたん設定が起動します。

メ　モ

2 回目以降の起動では、マスタービューアーが起動します。

3 **かんたん設定に従い設定する** （☞ P. 34「かんたん設定について」）

- 基本（本体ネットワーク、時刻）
- RAID（N-R500R のみ）
- カメラ登録
- ライブ画面
- 録画

その他の設定

する

4 **詳細設定を行う** （☞ P. 29「詳細設定」）

しない

メ　モ

設定完了の状態を保存しておくことをお勧めします。
（☞ 取扱説明書 操作・設定編「レコーダー設定を保存する」）

5 **本機の運用を開始する**

運用後の操作のしかたや設定変更については、別冊の取扱説明書 操作・設定編「第 3 章」をご覧ください。

■ 詳細設定

必要に応じて以下の設定を行ってください。

1 **本機の設定を行う**

- ネットワークの設定
- モニターの設定
- 日付と時刻の設定

☞ 取扱説明書 操作・設定編
「メンテナンス設定」

2 **カメラの設定を行う**

- ネットワークの設定
- 時刻の設定
- モーション検知の設定

☞ 取扱説明書 操作・設定編
「カメラ設定」

[Netcansee シリーズのカメラの設定を行う]

- ネットワークの設定
- 時刻の設定
- モーション検知の設定
- 接点出力設定
- カメラのイベント送信先の設定

☞ カメラの設定説明書

3 **マスタービューアーを運用する設定を行う**

- 接続するカメラの登録)
- 接続する拡張機器の登録
- ライブ画面(パターン)の設定
- マップ設定
- 録画スケジュール設定
- ユーザー設定
- メール設定
- イベント設定
- 詳細設定

☞ 取扱説明書 操作・設定編
「マネージャーの設定項目について」

4 **画面表示や自動ログインなどの設定を行う**

- 1 画面表示時の高解像度設定
- 表示言語の選択
- 音量の設定
- 自動ログインの設定

☞ 取扱説明書 操作・設定編
「オプション設定」

起動と終了

■ 本機の起動

本機の起動には以下の 2 つの方法があります。

ご注意

本機が起動したあとは絶対に移動させないでください。故障の原因になります。

1. 主電源スイッチから起動する

本機は主電源スイッチを「入」にすると、前面の電源キーを操作しなくても自動的に起動します。
初めて起動するときは、かんたん設定の画面が表示されます。
2 回目以降に起動するときは、前回の終了のしかたによって起動後に表示される画面が異なります。

かんたん設定が完了している場合：マスタービューアーのログイン画面が表示されます。

かんたん設定が未完了の場合　　：かんたん設定の画面が表示されます。

メ　モ

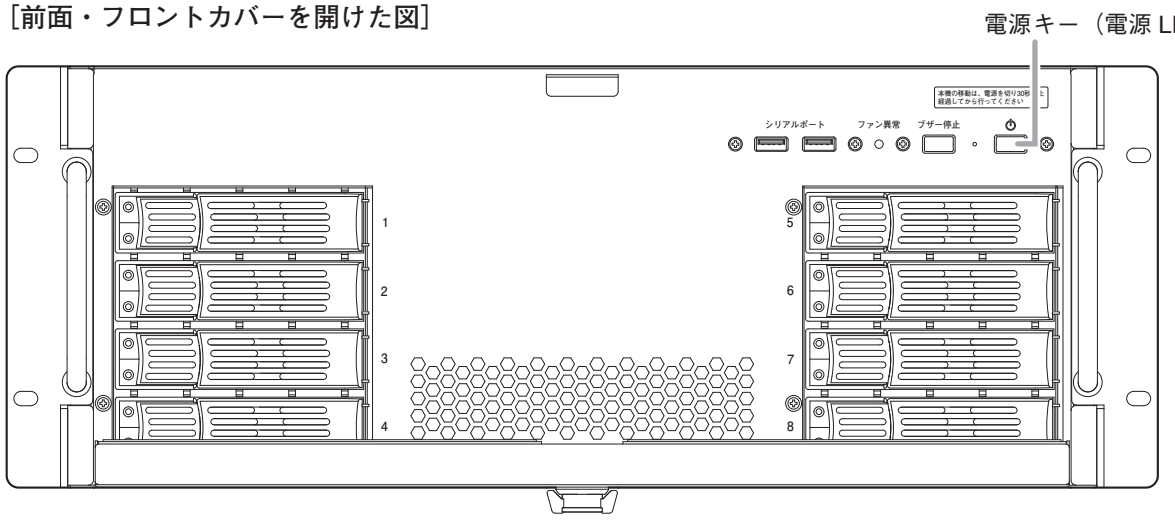
かんたん設定終了時に「次回から起動時にかんたん設定を表示しない。」にチェックを入れると、次回の起動時はマスタービューアーのログイン画面が表示されます。

2. 電源キーから起動する

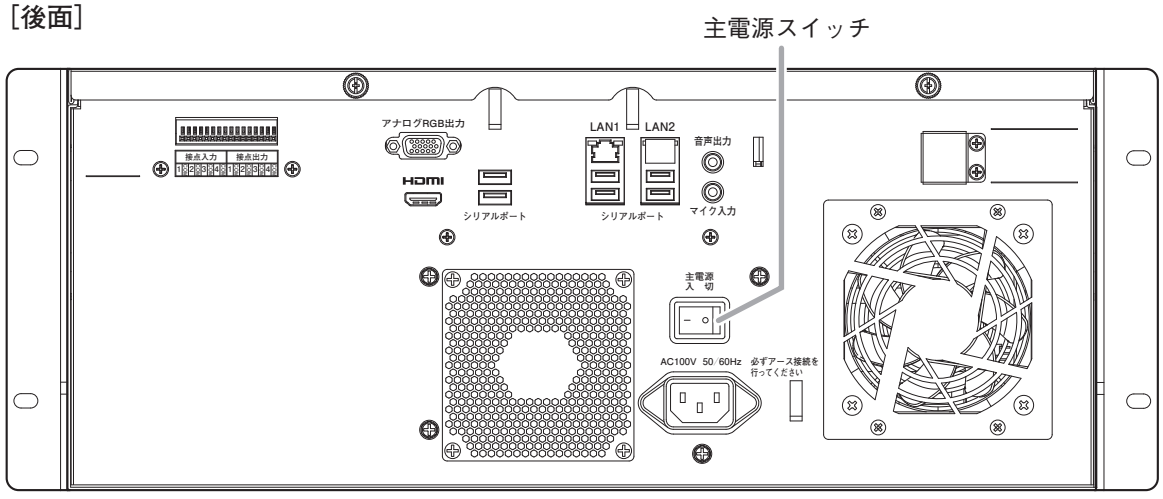
本機がスタンバイ状態のときは、電源キーを操作して本機を起動します。
起動するとマスタービューアーのログイン画面が表示されます。

スタンバイ状態：マスタービューアーをシャットダウンした状態で、主電源スイッチは「入」になっています。スタンバイ状態では、前面の電源 LED は点滅します。

［前面・フロントカバーを開けた図］



［後面］



● 主電源スイッチから起動する（かんたん設定が未完了の場合）

1 各機器を正しく接続する。（☞ P. 23「接続のしかた」）

2 後面の主電源スイッチを「入」にする。

本機が起動すると、かんたん設定の画面が表示されます。



3 画面に従い、本機を使用するための基本設定を行う。

設定のしかたについては、別冊の取扱説明書 操作・設定編「かんたん設定」をご覧ください。

メ　モ

かんたん設定は途中で終了することもできます。
終了するとマスタービューアーのログイン画面が表示されます。
P. 32「主電源スイッチから起動する（かんたん設定が完了している場合）」の手順 2 に進んでください。

● 主電源スイッチから起動する（かんたん設定が完了している場合）

1 後面の主電源スイッチを「入」にする。

マスタービューアーのログイン画面が表示されます。

 をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。操作のしかたについては、P. 16「ソフトウェアキーボードについて」を参照してください。



2 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックする。

マスタービューアーにログインし、マスタービューアーを操作することができます。（☞ P. 35「マスタービューアーについて」）

メ　モ

ユーザー名やパスワードが設定されていないときは、下記を入力してください。

初期ユーザー名：admin
初期パスワード：guest

ご注意

初期ユーザー「admin」は削除できません。また、操作権限が管理者レベルのため、不特定ユーザーに使用されないよう、必ずパスワードを変更して運用してください。
パスワードの変更は、マネージャーのユーザー設定で行います。

● 電源キーから起動する（スタンバイ状態から起動する）

1 前面の電源キーを押す。

本機が起動し、マスタービューアーのログイン画面が表示されます。

 をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。操作のしかたについては、P. 16「ソフトウェアキーボードについて」を参照してください。

2 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックする。

P. 32「主電源スイッチから起動する（かんたん設定が完了している場合）」の手順 2 と同様です。

■ 本機の終了

ご注意

終了操作は管理者レベルのユーザーのみが行えます。

1 マスタービューアー画面右上の「終了」ボタンをクリックする。

終了画面が表示されます。

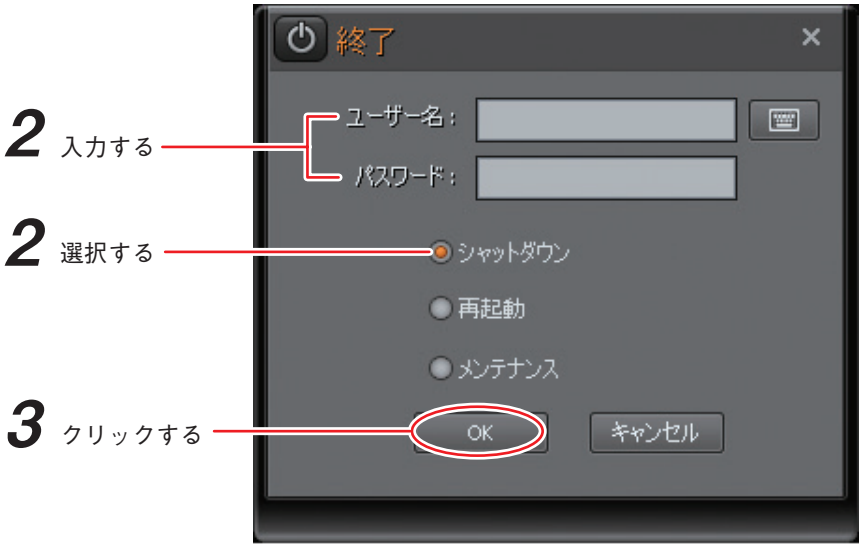


2 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「シャットダウン」を選択する。

 をクリックすると、ソフトウェアキーボードが表示されます。操作のしかたについては、P. 16「ソフトウェアキーボードの操作」を参照してください。

メ　モ

本機のメンテナンス設定を行う場合は、「メンテナンス」を選択してください。



3 「OK」をクリックする。

マスタービューアーが終了し、モニターの画面表示が消えます。
本機はスタンバイ状態になり、前面の電源 LED が点滅します。

4 電源 LED が点滅しているのを確認してから、後面の主電源スイッチを「切」にする。

ご注意

- 本機の動作中（録画中）に主電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。内部のデータが破損したり、ハードディスクが故障することがあります。必ず、上記手順で電源を切ってください。
- 本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。

かんたん設定について

本機を起動すると、かんたん設定の画面が表示され、本機を使用するための設定を行います。



かんたん設定は以下の設定を行うことができます。
詳しくは別冊の取扱説明書 操作・設定編「かんたん設定」をご覧ください。

● 基本
・本機のネットワーク設定
・本機の時刻設定、NTP 設定

● RAID
・RAID の構築

● カメラ登録
・使用するカメラおよび拡張機器の登録
・カメラ登録数拡張
・カメラおよび拡張機器の自動ネットワーク設定

● ライブ画面
・ライブ画面の分割表示パターン設定（シーケンスは不可）
・カメラおよび拡張機器の名称変更

● 録画
・カメラの録画パラメーター設定（カメラ一括設定）

マスタービューアーについて

■ マスタービューアーでできること

マスタービューアーでは以下の操作や設定を行うことができます。
詳しくは別冊の取扱説明書 操作・設定編をご覧ください。

ご注意

本機を運用するためには、本機と各機器の設定が必要です。

● 操作

・ライブやマップでカメラ映像を監視する
・ライブでコンビネーションカメラの PTZ 制御やカメラの接点出力の制御を行う
・録画の再生を行う
・イベントの検索と再生を行う
・録画の動作状況を確認する
・マスタービューアーへのログイン／ログアウトの状況を確認する
・マスタービューアー画面のロック／ロックの解除を行う
・マスタービューアーのログイン／ログアウトを行う
・マスタービューアーを終了する

● 設定

・レコーダーの基本設定や、メンテナンスを行う
・マスタービューアーを運用するための設定を行う
・画面表示や自動ログインなどの設定を行う

■ 初期ユーザー

マスタービューアーにログインするときの操作権限は、あらかじめ管理者レベルの初期ユーザーが登録されています。初めて本機を起動する場合など、ユーザー設定がされていないときには、初期ユーザーでログインしてください。

ユーザー名：admin
パスワード：guest

ご注意

初期ユーザー「admin」は削除できません。また、操作権限が管理者レベルのため、不特定ユーザーに使用されないよう、必ずパスワードを変更して運用してください。
パスワードの変更は、マネージャーのユーザー設定で行います。

■ ログイン／ログアウト

本機では、マスタービューアーを操作するために一般ユーザーまたは管理者ユーザーで認証することを「ログイン」、ログイン状態を解除することを「ログアウト」と呼びます。
不特定ユーザーに操作されるのを防止するために、マスタービューアーを操作しないときは、ログアウトを行ってください。

メ　モ

録画スケジュールの設定がされている場合、マスタービューアーのログイン状態に関係なく録画を行います。

● ログインする

1 マスタービューアー画面右上の「ログイン」ボタンをクリックする。

マスタービューアーのログイン画面が表示されます。



2 ユーザー名とパスワードを入力する。

キーボードで入力するときはキーボードの Caps Lock（ON/OFF）を確認してください。

をクリックするとソフトウェアキーボードを表示します。操作のしかたについては、P. 16 を参照してください。



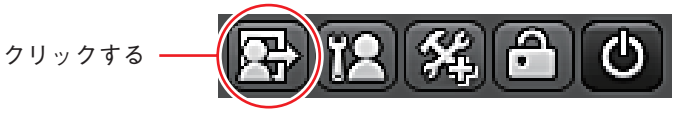
3 「ログイン」をクリックする。

マスタービューアーにログインします。

● ログアウトする

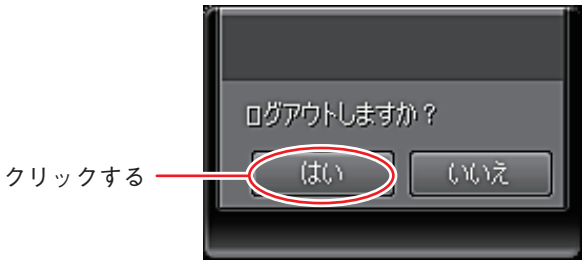
1 マスタービューアー画面右上の「ログアウト」ボタンをクリックする。

ログアウトの確認画面が表示されます。



2 「はい」をクリックする。

マスタービューアーからログアウトします。



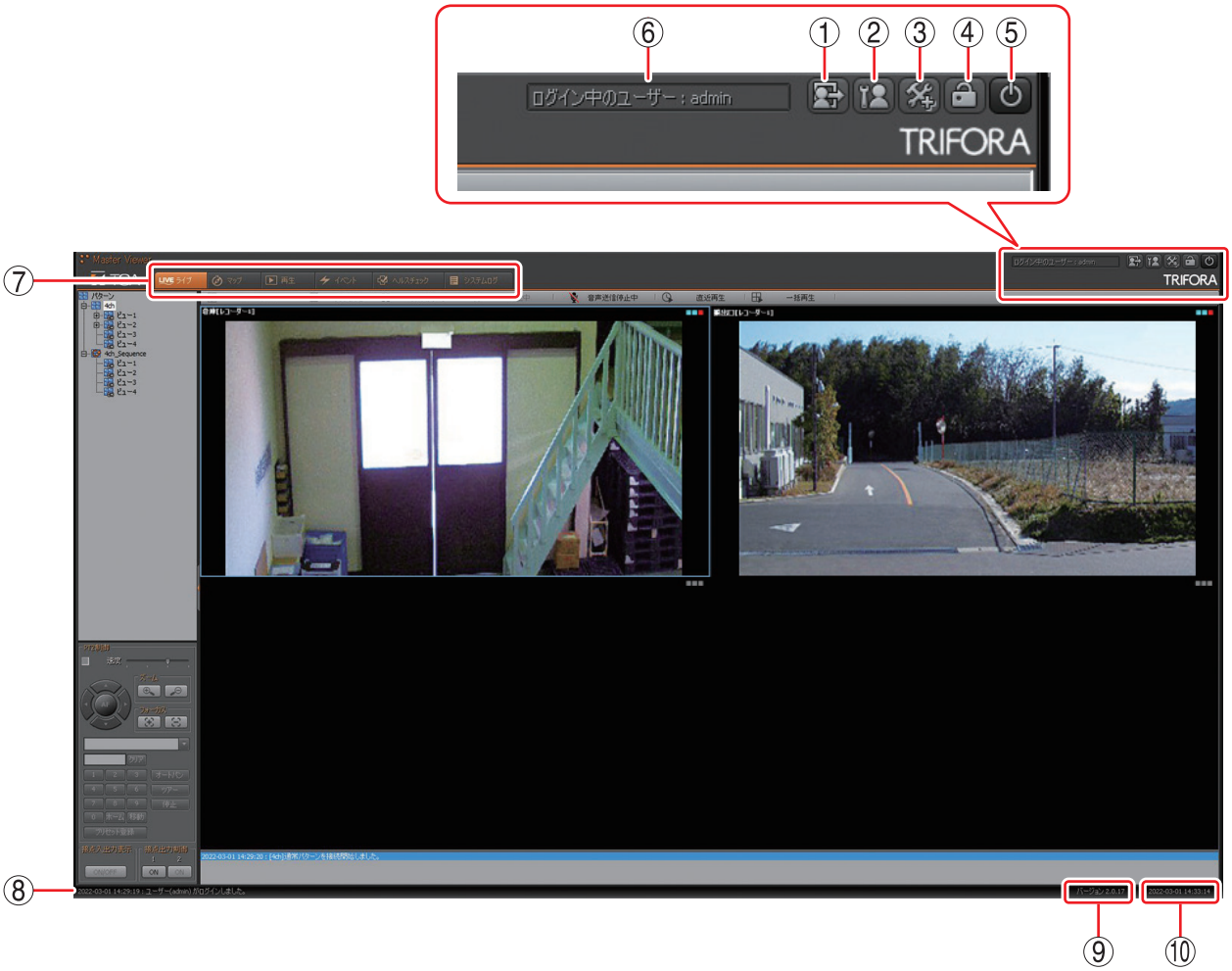
メ　モ

ログアウトすると「ログイン」ボタン、「終了」ボタン以外は操作できません。



■ マスタービューアー画面

マスタービューアーにログインすると、最初にライブ画面が表示されます。
ここでは、マスタービューアーの機能を切り換えるための各種タブやボタンについて説明します。
操作の詳細については、別冊の取扱説明書 操作・設定編をご覧ください。



① ログイン／ログアウト
　ログイン　　：マスタービューアーにログインします。
　ログアウト　　：マスタービューアーからログアウトします。

② マネージャー　　：マネージャー設定を起動します。

③ オプション　　：オプション設定画面を表示します。

④ ロック／ロック解除　：マスタービューアー画面をロック／ロック解除します。

⑤ 終了　　：マスタービューアーを終了します。

⑥ ログイン中のユーザー：マスタービューアーにログインしているユーザー名が表示されます。

⑦ 画面切換タブ　　：ライブ、マップ、再生、イベント、ヘルスチェック、システムログ画面に切り換えます。

⑧ メッセージ　　：ログイン／ログアウトの状態やロック／ロック解除のメッセージを表示します。

⑨ バージョン　　：本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

⑩ 日付と時刻　　：本機の日付と時刻を表示します。

故障かな？と思ったら（設置編）

症　状	調べるところ	対　処
電源が入らない。	付属の電源コードが本機のインレットおよびUPSの電源出力コンセントに接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。UPSを使用している場合は、本機とUPSのACコード／プラグを正しく接続し、UPSの電源スイッチを「入」にしてください。
	後面の主電源スイッチは「切」になっていませんか？	後面の主電源スイッチを「入」にしてください。
モニターに映像が表示されない。	モニターと正しく接続できていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	モニターの電源スイッチが「切」になっていませんか？	モニターの電源スイッチを「入」にしてください。
電源を入れてもログイン画面またはメンテナンス画面が表示されない。	―	販売店にご相談ください。
HDDパワーLEDが点灯しない。	HDDユニットがディスクスロットの奥まで差し込まれていますか？	HDDユニットを正しく取り付けてください。（☞ P. 19「HDDユニットの取り付けかた」）
HDDステータスLEDが赤く点灯している。	RAIDが未構築ではありませんか？	HDD管理でRAIDの構築を実施してください。（☞取扱説明書 操作・設定編「HDD管理を行う」）

アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 保証書

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。
もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

● 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、生産完了後 7 年間となっております。
保有期間内に補修用性能部品の入手が不可能な場合には、同等性能部品を供給させていただきます。
※ 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

機 器 保 証 書

品　　番	製造（ロット）番号	この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	
保証期間	**お買い上げ日から1年間** **ただし、消耗部品を除く**（詳しくは下記に記載）		
お買い上げ日	□□□□年□□月□□日		
お客様 ご住所	□□□□□□□ TEL（　　）　　－	販売店	住所・店名・TEL
お客様 お名前	様		

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

＜無償修理規定＞

1. 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
2. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
3. 無償修理期間内でも、次の場合には有償修理になります。
   (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
   (2) 当社が指定する消耗品部品（各取扱説明書ご参照）の交換の場合。
   (3) お買い上げ後の輸送、移転、落下、水没などによる故障および損傷。
   (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス）や異常電圧、その他使用に伴う自然摩耗などによる故障および損傷など。
   (5) 本商品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
   (6) 保証書のご提示がない場合。
   (7) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。
4. テープデッキ、CD/DVD/BD ユニットの保証期間はお買い上げ日から 6 カ月といたします。
5. 記録媒体を搭載または使用する商品の場合、いかなる場合においても商品の設定情報や記録内容については保証いたしません。
6. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

※ 本商品の故障に起因する付随的・派生的損害についての補償はお受けできません。

※ この保証書は本書に明記した期間および条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

※ 当社は、皆様から提供された個人情報について、その重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律を遵守することにより、個人情報の適正な収集、利用、安全管理を行います。当社の個人情報の取り扱いに関する詳細は、https://www.toa.co.jp/privacy.htm をご参照ください。

※ お客様情報は商品を安全にお使いいただくための修理目的のほか、サービスのご案内や買い替えのご提案に利用させていただく場合があります。また、当利用目的の範囲内において、サービス会社および販売店などの第三者にお客様情報を提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

TOA 株式会社
〒 650-0046 神戸市中央区港島中町七丁目 2 番 1 号　TEL（078）303-5620（代）

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/

TOA株式会社

133-02-00534-07